

経営比較分析表（令和6年度決算）

愛媛県 鬼北町

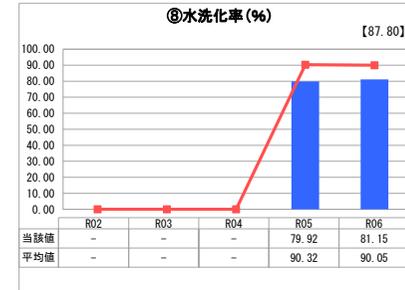
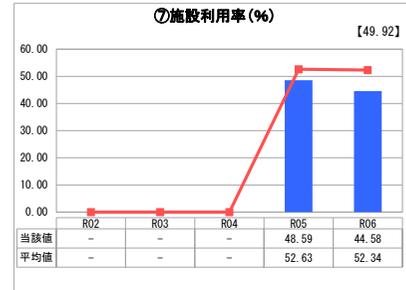
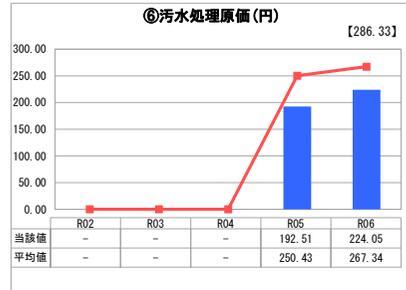
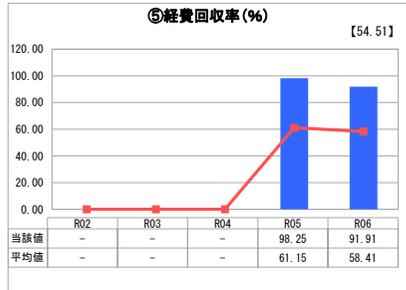
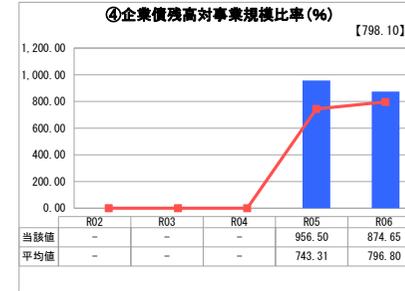
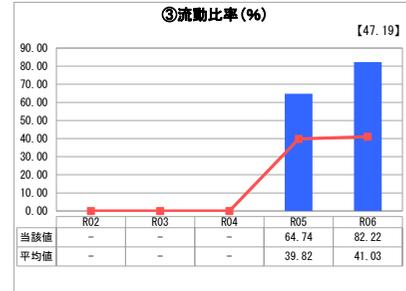
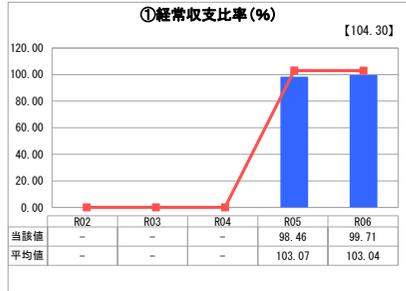
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	87.61	22.36	100.00	3,960

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,108	241.88	37.66
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,011	1.58	1,272.78

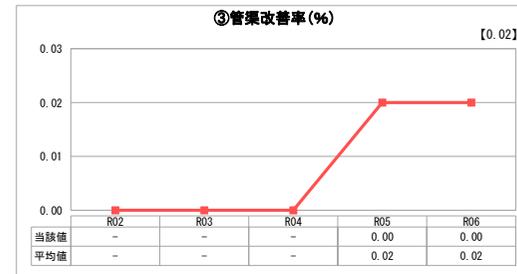
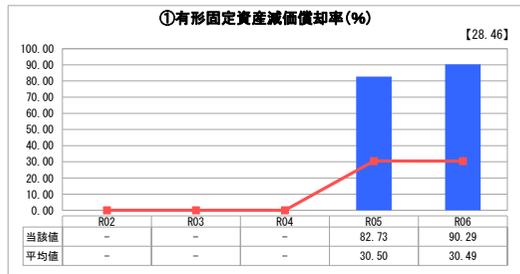
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、維持管理費や支払利息等を使用料や一般会計からの繰入金でどのくらい賄えているかという指標で、今年度は99.71%で単年度収支が赤字でした。

累積欠損金比率については、営業収益に対する累積欠損額を表す指標で、0%であることが求められます。今年度は公営企業会計への移行2年目であり、昨年度の2.97%から4.20%へ増加しており、今後増加傾向にならないように注意深く事業を実施していきます。

流動比率は1年以内に支払う債務に対し支払うことができる現金の保有状況を示します。令和6年度令和5年度に比べて一般会計からの繰入金が増加したことから、82.22%と上昇しています。

経費の回収率は、下水道使用料で回収すべき経費を使用料で賄えているかを表す指標です。人口減少や施設の老朽化による施設の維持管理費用が増加傾向にあるため昨年度より減少している状況です。

施設利用率は処理能力に対してどのくらい汚水が入ってきているかを表す指標で、昨年度より減少して44.58%となっています。人口減少や過大なストックとなっている処理場が有るため、施設改修の際に適正な規模になるよう能力を見直していきます。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、法定耐用年数に近い資産が多いことを意味しています。当町は、類似団体平均30.49%と比較しても90.29%と極めて高い状況となっています。今後次々と機器の故障や施設の修繕が必要となることが想定されりため、早期の異常の発見に努めていく必要が有ります。

全体総括

経営の健全性・効率性については、公営企業会計を適用して間もないため、今後の推移を注視して検討していきます。また、中山間地で過疎化により人口が減少していくことが推測されますが、経営の健全性・効率性を重視して使用料を改定してしまおうと、更に過疎化に拍車がかかってしまう危険性ををはらんでいるため、使用料の改定については慎重に対応すべきと考えています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。